

料金後納郵便

JEM
TODAY

事業紹介

半導体の品質を支える

スマートフォン、自動車…。プローブカードが支える様々な製品。

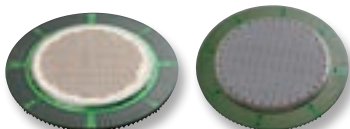
当社グループが手掛けるプローブカードは、皆さまの生活を彩る様々な製品に搭載されている半導体の製造に不可欠なものです。

我々は今後も半導体の品質を支えていきます。



アドバンストプローブカード

当社グループは1994年Vタイププローブカードにより、メモリーIC向け同時多数個測定および垂直型プローブカードの市場を切り拓きました。Mタイププローブカードとともに、更なるシェアアップを目指します。



Mタイププローブカード Vタイププローブカード

カンチレバー型プローブカード

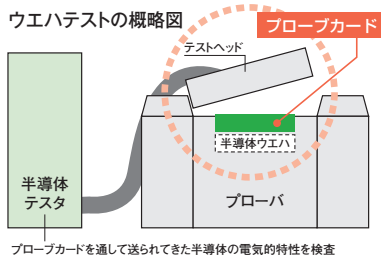
1970年代より長年蓄えてきた様々な技術が活かされており、その結果現在でも世界のトップシェアを確保する等、ロジックICを中心とした半導体メーカーより厚い信頼を得ています。



Cタイププローブカード

プローブカードの活躍場所 ～ウエハテスト～

プローブカードは半導体の良品・不良品を電氣的に判別するウエハテスト工程で使われます。プローバと呼ばれる装置の中で、ウエハ上に作られた半導体チップと接触し、半導体チップと半導体テストを電氣的につなぐ役割を担う、半導体の製造工程において必要不可欠な製品です。

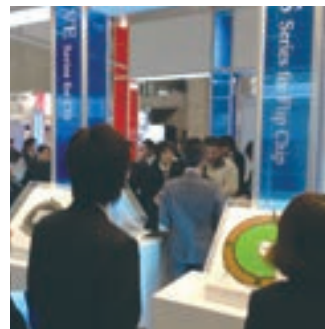


トピックス

「SEMICON JAPAN2012」に出展

世界最大の半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON JAPAN2012」が、2012年12月5日～7日までの3日間、千葉県の幕張メッセにて開催され、36回目の開催となった今回は、出展社数855社/団体、出展国数19ヶ国、来場者数合計63,060人となりました。

当社も例年どおり出展し、多くの来場者の方をお迎えすることができました。白とブルーを基調としたブースには主力製品に加え、高周波測定向け製品やMEMSによる新技術の展示をおこない、当社の製品や、当社が取り組んでいる様々な技術を紹介いたしました。



2012年度第3四半期のご報告 2012年4月1日～2012年12月31日 証券コード 6855

BUSINESS REPORT
JEM TODAY

http://www.jem-net.co.jp JEM JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話0120-094-777 (通話料無料)
返送先 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

①開く

株主様へのお知らせ

JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします。

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行しています。
 通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様へ、第2四半期
 報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様へお送りしています。

株式関係のお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、下記、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

株主メモ

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載して行います。

株主の皆さまへ

ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 2012年度第3四半期を終了いたしましたので、事業の概況をご報告いたします。

当第3四半期連結累計期間は、スマートフォン等の成長市場の半導体向けにアドバンスプローブカードの拡販を進めましたが、半導体市場の冷え込みの影響等により、売上面につきましては前年同期を下回る結果となりました。利益面につきましても、売上の減少や価格競争の影響等を受け、前年同期に対して減少いたしました。

半導体市場は、パソコンや薄型テレビ等のデジタル家電向け需要の低迷や半導体価格の下落により、半導体メーカーの設備投資抑制や生産調整期間が長引いている為、半導体製造装置の需要も低迷しており、プローブカード市場も厳しい状況が続いております。

このような状況に対して、従来から実施しておりますVA活動による原価低減に加え、更なる固定費の削減をもってコストダウンを推し進めておりますが、本格的な市場回復には時間を要する見通しです。当社グループを取り巻く事業環境は厳しさを増しておりますが、全社一丸となってこの難局を乗り切っていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き
 変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、
 何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
風間 悦男



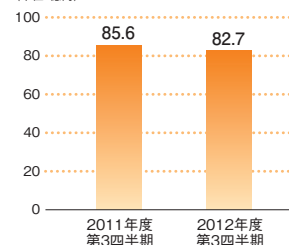
財務サマリー

(単位:百万円)

期 別	2011年度 第3四半期	2012年度 第3四半期
売 上 高	8,560	8,272
営 業 利 益	215	31
経 常 利 益	144	45
四 半 期 純 利 益	△ 166	△ 75
1株当たり四半期純利益(円)	△ 15.76	△ 7.15

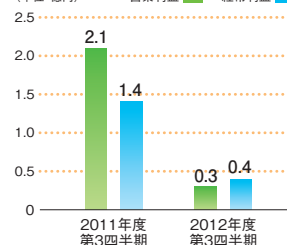
○売上高

(単位:億円)



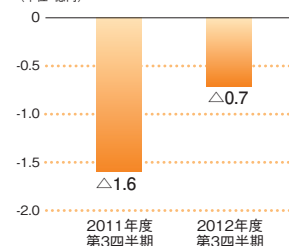
○営業利益・経常利益

(単位:億円)



○四半期純利益

(単位:億円)



○1株当たり四半期純利益

(単位:円)

